

新たな食料・農業・農村基本計画の検討項目（案） （議論の素材）

中長期的には、世界の食料需給がひっ迫することが見込まれる一方、我が国農業の生産構造の脆弱化や農村地域の疲弊が深刻化している。

このような中、我が国農業の持続可能性を確固たるものにし、我が国のみならず、世界全体の食料需給の安定化に貢献する観点から、これまでの政策を検証した上で、国民的議論を踏まえて、現行の食料・農業・農村政策をあらゆる角度から見直すべきではないか。

1. 国民の食料供給を担う農業の持続的な発展

消費者が求めるおいしく安全な農産物を効率的・安定的に提供することができる元気な農業経営を育成・確保することを通じ、農業を魅力あるものとし、食料自給力を向上させるべきではないか。

（1）元気な担い手の育成・確保と経営の発展、多様な経営体の参画

- ・ 農業経営者たる担い手像の一層の明確化とこれに対する総合的な支援
- ・ 地域農業を担う多様な経営体・事業者による農業生産への参画
- ・ 若者の就農促進、企業的経営の展開による離職者・失業者等の雇用

（2）限られた農地の最大限の確保と有効利用

- ・ 農地の面的集積の促進等による農地の最大限の有効利用
- ・ 農業生産に不可欠な農地の良好な状態での確保、耕作放棄地の計画的な解消と多様な主体による農地等地域資源の維持・管理

（3）水田フル活用など国産農産物の積極的な活用に向けた新たな農業の展開、輸出の促進

- ・ 水田をフルに活用した戦略作物の増産と食料自給力の向上
- ・ 加工・業務用需要向けの国産農産物シェアの回復
- ・ 世界に誇るべき高品質な農林水産物・食品の輸出促進

（4）農地の生産性を向上させる生産基盤の整備

- ・ 農業の土地生産性を維持・向上する用排水システムなどの整備・維持管理
- ・ 農業の労働生産性を高める基盤整備、農地の集団化・利用集積

(5) 我が国の高品質な農産物を効率的に生み出す高度な技術の開発・普及

- ・ 省エネ・省資源・生産性向上のための技術の確立、機能性成分に富む食品や農産物の開発、IT等先端技術の活用
- ・ 我が国農産物の優位性を後押しする知的財産対策の充実

(6) 農業の自然循環機能の一層の向上

- ・ 地球温暖化防止や生物多様性保全など環境保全を一層重視した農業生産の展開
- ・ 農村に存在するバイオマスなどの再生可能な未利用資源の有効活用

2. 国民生活の基礎である食料の安定供給の確保

我が国の農林水産業・食品産業が提供する食品が消費者から一層選択され、食料自給力の向上につながるよう、安全で国民から信頼される食料供給体制を構築し、消費者への情報提供を充実させるべきではないか。

(1) 我が国の食の安全と消費者の信頼の確保

- ・ 農産物の生産から消費までの安全を確保する科学的データの集約と安全性向上のための施策の推進
- ・ 消費者の自由な食品選択に資する科学的知識や表示などの情報提供

(2) 栄養バランスのとれた我が国の食生活の維持・継承

- ・ 日本型食生活や旬を大切にする食文化の定着に向けた食育の推進
- ・ 学校給食、民間企業など多様な形での地産地消の推進

(3) 消費者と直接関わる食品産業の振興

- ・ 食品産業による農業との連携や国産農産物の活用促進
- ・ 食料輸入国としてふさわしい、食品の無駄の抑制・リサイクルの国民的な推進

(4) 食料輸入国として、不測時にも安心できる食料安全保障の確立

- ・ 国民の生存に必要な食料の輸入及び備蓄や、エネルギー・生産資材の安定的な確保
- ・ 食料輸入国としての安定的な輸入の確保、世界の食料生産の促進に貢献する国際協力

3. 地域に雇用とにぎわいを生み出す農村の振興

現下の厳しい経済情勢の中で、農業生産の基盤をなす農村地域が明るさを取り戻し、経済の活性化や雇用拡大、多面的機能の発揮が図られるよう、再生産可能な地域の生物系資源を活用し、農業を起点とした「資源総合産業」を確立するとともに、国内外の様々な人々が自由に交流できる場となる環境を整備すべきではないか。

(1) 農業が循環型産業である特色を活かした地域フロンティア産業の確立

- ・ 廃棄物、未利用資源を食料自給力の新たな要素の一つとしてとらえ、これらを地域で安全かつ効果的に活用する農業生産の展開
- ・ 農業を起点とした新たな技術を開発・活用し、食料のみならず新素材や新薬など、農業を軸に我が国地域産業の新たなフロンティアとなる「資源総合産業」の確立

(2) 地域に雇用と活力を与える農村経済の活性化

- ・ 農林水産業と商工業や観光業との連携、都市と農村の交流、地産地消などを通じた地域経済の活性化、地元雇用の受け皿の拡大
- ・ 都市における屋上農園、植物工場など農業生産の場の拡大

(3) 農村集落・中山間地域等の維持・再生

- ・ 住民が誇りを持ち、地域が維持されるための支援体制の確立
- ・ 鳥獣被害への対応など地域資源の適切な保全管理

(4) 人々にやすらぎをもたらす良好な農村環境の保全・形成、多面的機能の発揮

- ・ 農村の計画的な土地利用を後押しする政策の展開
- ・ 地域の特徴ある発展につながる生活インフラを含む農村環境の整備

4. 国民生活の安心につながる食料自給力・食料自給率の確保

以上の取組を通じて、不測の事態にも国民が安心して食生活を送ることができる食料自給力を確保すべきではないか。

また、消費と生産両面の取組の結果として、目標とすべき食料自給率の示し方及び水準を明らかにすべきではないか。